

# とちぎ歴史資料ネットワーク (とちぎ史料ネット)

とちぎ史料ネットとは ～歴史とともにある心豊かな地域社会を～

とちぎ史料ネットは2019年10月の東日本台風（台風19号）で、佐野市の磯田守氏が収集した歴史資料が被災したことを契機に、その保全活動に取り組む中で設立されました。

主な活動として、被災資料の保全作業を行うとともに、こうした歴史資料の救出・保全作業の経験を共有し、被災を未然に防ぐことを目指す活動にも取り組んでいます。



## 2024年の活動①

### 磯田コレクションお披露目展示 開催中



2019年の被災以来、磯田コレクションの整理作業に取り組んでいます。その過程で、資料の内、佐野市関係は佐野市郷土博物館へ、栃木県関係は栃木県立文書館への寄贈を仲介しました。

昨年6月からは県立文書館の令和6年度常設展「史料レスキューで甦った文書—磯田守氏戦争関係史料コレクション—」が開催されています。栃木県にお越しの際はぜひ県立文書館へ。

## 2024年の活動②

### 「すてないでチラシ」作成&配布

被災時における**歴史資料の廃棄の防止**および平時から私たち**とちぎ史料ネットの活動を多くの方に知っていただくためのチラシ**を作成しました。昨月からは、会員・サポート会員、そして県内の文化施設を中心に、各所で配布を始めました。

本会場でも配布していますので、さらに良いチラシになるように、ぜひご意見をお寄せください。

古い資料や写真……ぬれたり汚れたりしても捨てないでください!

とちぎ史料ネットは災害から歴史資料を守り、未来に伝えます

家や集会所などに預けられた古い資料は、地域の歴史や人びとの思いを今に伝える貴重な文化財です。私たち「とちぎ史料ネット」は、歴史資料を守り、未来に伝えていくために活動しています。もし「古いものかもしれない」「貴重なものかもしれない」というものがあたら、処分せずに「とちぎ史料ネット」までお問い合わせください。

地域に残っている歴史資料とは

- 和紙に文字が書かれたもの
- 古い日記やノート
- 時代を映す日常生活の道具
- 古いふすまや屏風（下取りに古い資料が収められていることがあります）
- 和紙を綴じた古い本
- 写真やアルバム、ビデオテープ
- 自治会や企業の記録

水に濡れていたり、泥で汚れていたりしても修復が可能ことがあります

とちぎ史料ネットは、被災者が定めた文化財の保存・活用を目的とした「栃木県文化財保存活用大綱」にも掲載されている団体です。

とちぎ史料資料ネットワーク（とちぎ史料ネット）  
mail tochigi.shiryonet@gmail.com  
HP https://tochigi-shiryonet.1web.jp

とちぎ歴史資料ネットワーク（とちぎ史料ネット）  
mail tochigi.shiryonet@gmail.com  
HP https://tochigi-shiryonet.1web.jp

